

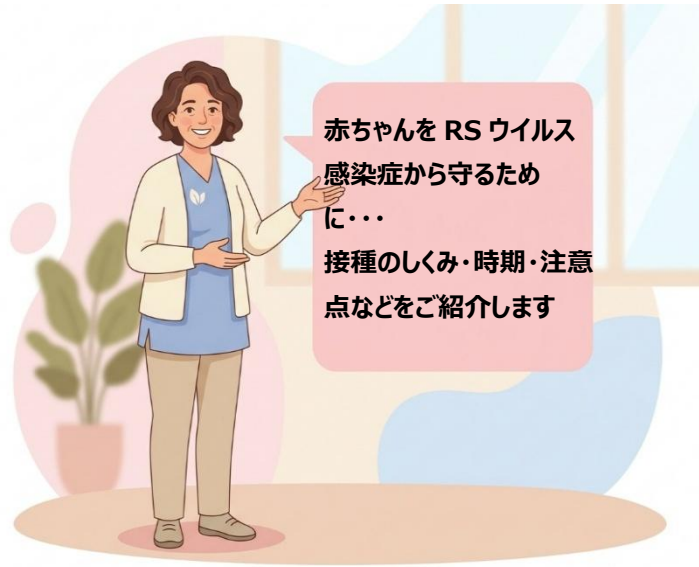
妊婦さんにご家族へ アブリスボ、ご存じですか？

はじめに

秋から冬にかけて、RS ウイルスによる感染症が流行しやすい時期があります。大人や大きなお子さんには「ちょっとしたかぜ」で終わることも多いウイルスですが、生まれたばかりの赤ちゃんにとっては、気管支炎や肺炎など、受診が必要になるほど重い病気につながる場合があります。

「アブリスボ」は、妊婦さんが接種することで、赤ちゃんをRS ウイルス感染症から守るための**母子免疫ワクチン**です。2024年1月に日本で承認され、5月に発売。今年4月からは国の定期接種にも組み込まれました。

ここでは、アブリスボとはどんなワクチンか、何を防げるのか、いつ誰が対象なのか、副反応や注意点、よくある疑問など、妊婦さんやそのご家族が気になるポイントをご紹介します。「打つか迷っているけれど、よくわからない」という方が、ご家族や担当の先生と話し合うきっかけになれば幸いです。



1. RS ウイルス感染症とは

RS ウイルスとはどんなウイルス？

RS ウイルスは、毎年秋から冬にかけて流行しやすいウイルス（近年は流行しやすい時期に変化がみられている、といわれています）で、大人や幼児では、くしゃみ・鼻水・せき・発熱といったかぜに似た症状を認めることが多くあります。感染してもそれほど重症化しないことも多く、「あれ、かぜかな？」と気づかずに過ごすこともあります。

赤ちゃんへの影響が心配な理由

ところが、生後まもない赤ちゃん（特に生後6か月未満）は免疫のしくみがまだ十分に育っていないため、RS ウイルスに感染すると症状が重くなりやすい傾向があります。

具体的には、

- ゼーゼー・ヒューヒューとした呼吸（喘鳴）
- 息苦しそうにしている



- 母乳やミルクを飲む量が減った
- ぐったりしている

といったサインが出ることもあり、気管支や肺の病気（気管支炎・肺炎）につながることもあります。「ただのかぜ」と見えても、月齢が低い赤ちゃんでは入院が必要になるケースもあるのです。

2. アプリスポは、赤ちゃんを守るために妊婦さんが打つワクチンです

「母子免疫ワクチン」とは

アプリスポは「母子免疫ワクチン」といわれるタイプのワクチンです。

「母子免疫ワクチン」という言葉は聞きなれないかもしれませんが、簡単にいうと、**赤ちゃんを守るために妊婦さんが接種する**ワクチンです。

しくみは以下の通りです。

- 1. 妊婦さんが接種する**：お母さんの体の中で、RSウイルスと戦う力（抗体）が作られます。
- 2. 抗体が赤ちゃんに届く**：作られた抗体は、胎盤を通じて赤ちゃんに移行します。
- 3. 赤ちゃんが守られる**：赤ちゃんは、お母さんからもらった抗体をもった状態で産まれてくるため、生後早い時期からRSウイルスへの予防効果が期待できます。



ワクチンの成分について

アプリスポの正式名称は「組換えRSウイルスワクチン」（販売名：アプリスポ筋注用）で、ファイザー社が製造しています。

「ワクチンの成分がそのまま赤ちゃんに入るの？」と心配される方もいらっしゃいますが、ファイザー社によるとアプリスポのワクチン成分そのものは胎児には移行しないとされており、胎盤を通じて移行するのは、お母さんの身体が作った抗体です。

3. どんな効果が期待できるの？

臨床試験で示された効果

アプリスポの効果は、日本を含む世界各地の妊婦さんを対象に行われた大規模な臨床試験（MATISSE試験）で確認され、以下のような結果が示されています。

対象：生後 180 日までの乳児	効果（減少率）
医療機関への受診が必要な RS ウイルス関連の気管支・肺の病気	約 51.3%減少
重い気管支・肺の病気	約 69.4%減少

つまり、生後 180 日までの赤ちゃんの

- 受診が必要な病気になるリスクが**約半分**に
- 重い症状になるリスクは**約 7 割**

少なくなったという結果が、臨床試験で示されました。

「必ず防げる」わけではありません

ただし、注意点があります。どのワクチンも、100%感染を防げるものではありません。接種していても、RS ウイルスに感染することはあります。

アブリスボは、「**感染したときに重い症状になるリスクを下げる**」という効果が期待されるワクチンです。赤ちゃんに気になる症状があるときは、接種の有無にかかわらず、受診することが大切です。

4. いつ受けられるの？だれが対象？

定期接種の対象となる妊婦さん

日本では 2026 年 4 月から、アブリスボが**定期接種**（公費で受けられるワクチン）の対象となりました。

接種の対象となるのは、**接種する時点で、妊娠 28 週 0 日～36 週 6 日の妊婦さん**です。

この週数の範囲内で、医師と相談しながら接種時期を決めましょう。RS ウイルスに罹ったことがある妊婦さんも対象になります。

接種の回数・方法

- 回数：妊娠ごとに 1 回（筋肉内注射）
- 量：1 回 0.5mL を腕に注射します

次の妊娠の際には、また改めて接種の対象となります。

費用について

定期接種として実施される場合は、**無料**で受けることができます。ただし、費用や実施方法は**お住まいの自治体によって異なる**場合があります。詳しくはお住まいの自治体の案内をご確認ください。

△ 里帰り出産を予定している方は、接種できる時期が限られるため、**早めに接種場所や予約方法を確認**しておくで安心です。

△ 対象週数である 36 週 6 日を過ぎると定期接種の対象外（自費での接種）となる場合があります。気になる方は早めに主治医にご相談ください。

5. 接種の前に知っておきたいこと

出産予定日が近い場合は相談を

アブリスボは、「接種後 14 日以内に生まれた乳児については、有効性が確立されていない」といわれています。

たとえば、36 週で接種して 38 週未満で出産した場合、接種から出産まで 14 日たっていない可能性があります。出産予定日が近い場合や、早産の可能性が高いと言われている場合は、**接種のタイミングについて医師とよく相談**してください。



接種の前に必ず伝えてほしいこと

接種前の問診で、次のことは必ず医師や看護師に伝えてください。

- これまでにワクチンや薬で強いアレルギー反応（じんましん・呼吸困難など）が出たことがある
- 血液をサラサラにする薬（抗凝固薬）など、注射で出血しやすくなる治療を受けている
- その日の体調が優れない、発熱がある
- 他のワクチンを近いうちに受ける予定がある

他のワクチンとの同時接種について

アブリスボは他の不活化ワクチン（インフルエンザワクチンなど）との同時接種が可能とされています。ただし、百日咳を含むワクチンとの同時接種では免疫への影響が報告されているとのデータもあることから、実際の接種計画は**主治医と相談のうえで決める**のが安心です。

6. 副反応は？ 受けたあとに気をつけること

よくみられる反応

どのワクチンでも、接種後に体が反応することがあります。アブリスボでは、よく見られる反応として、注射部位の痛み、頭痛／筋肉痛の反応が報告されています。

またそれ以外の反応として、注射部位の赤み・腫れ、発疹・じんましんなどの報告もあります。

こんな症状があるときは、すぐに相談を

まれですが、次のような症状がある場合は**すぐに医療機関へ連絡**してください。

- 息苦しさ、喉がしまる感じ
- 顔や口の腫れ

- 全身に広がるじんましん
- ぐったりする、意識がぼんやりする
- 心臓がどきどきする（動悸）

これらは強いアレルギー反応（アナフィラキシー）のサインの可能性があります。

△ 妊娠中は体の変化が大きい時期です。「いつものことかも」と我慢せず、気になる症状があれば早めに医療機関へご連絡ください。

7. よくある質問 Q&A

Q1. アブリスボは、妊婦さん本人のためのワクチンですか？

A. 主な目的は、生まれてくる**赤ちゃんのRSウイルスによる気管支・肺の病気を予防**することで、妊婦さん自身の症状を軽くするためのワクチンではありません。

Q2. 接種したら、赤ちゃんは絶対にRSウイルスにかかりませんか？

A. 絶対に防げるわけではありません。接種しても感染することはあります。ただし、臨床試験では、受診が必要な病気や重い症状になるリスクを大きく下げる効果が確認されています。

Q3. いつ受けるのが良いですか？

A. 日本の定期接種では、**妊娠 28 週 0 日～36 週 6 日**が対象です。早めに主治医や助産師に相談し、接種の時期を一緒に決めましょう。

Q4. 出産予定日が近いのですが、受けられますか？

A. 接種後 14 日以内に生まれた赤ちゃんでは、効果が確立されていないとされています。出産予定日や体の状態によって接種のタイミングが変わりますので、必ず医師にご相談ください。

Q5. 副反応が心配です。

A. 注射した部位の痛み・頭痛・筋肉痛などがみられることがあります。多くは数日で落ち着きます。強いアレルギー反応など、気になる症状があれば早めに医療機関へご相談ください。

Q6. 他のワクチンと一緒に受けられますか？

A. 他の不活化ワクチンとの同時接種は可能とされています。ただし、どのワクチンをいつ受けるか

は、主治医と相談して計画するのが安心です。

Q7. 費用はかかりますか？

A. 2026年4月からの定期接種では、原則として**無料**で受けることができます。ただし、費用や実施方法は自治体により異なる場合があります。お住まいの自治体または受診先の医療機関にご確認ください。

Q8. 里帰り出産の予定があります。どうすればよいですか？

A. 里帰り先と現住所の自治体で手続きが異なる場合があります。接種できる医療機関や予約方法を**早めに確認**しておきましょう。妊婦健診時に相談すると案内してもらいやすいです。

8. 当院での接種をご希望される場合

当院で分娩予定の方

妊娠初期にアリスボについてのパンフレットをお渡しします。ご家族と接種についてご相談ください。ご質問がある際は、健診の際などに遠慮なくお声がけください。定期接種対象週数近くになりましたら、あらためて接種のご案内をいたします。

アリスボ投与のみご希望の方

多摩市・町田市・八王子・日野・稲城市に在住の方が対象となります。ご希望の方は、当院代表番号(042-371-2111)より女性診療科・産科外来にご連絡をいただき、アリスボワクチン外来の予約をお願いいたします。



9. 引用元一覧

- 厚生労働省「RSウイルス感染症に対する 母子免疫ワクチンの 定期接種を実施します」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001662133.pdf>
- ファイザー株式会社「ファイザーとあすか製薬、RSウイルスワクチン『アリスボ』コ・プロモーション開始」
<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/press/2026/2026-03-06>
- 東京都保健医療局「妊婦の方へのRSウイルスワクチン定期予防接種」
<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/yobosesshu/rsvninputeiki>
- 広報東京都「4月1日からRSウイルスワクチンの定期接種が始まります」
<https://www.koho.metro.tokyo.lg.jp/2026/04/oshirase01.html>